



株主のみなさまへ

第145期中間報告書

平成24年4月1日から9月30日まで

エンシュウ株式会社

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

TOP MESSAGE

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を受け賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当中間連結期間におきましては、昨年の東日本大震災の影響による景気の停滞が外需を中心に緩やかに持ち直しつつありますが、欧州の金融不安や中国経済の成長鈍化、長期化する円高などに加え、中国、韓国におけるカントリーリスクの増大など先行きが不透明な状態が続きました。

このような情勢の中、当社グループは中国やアジア新興国への積極的な生産、販売活動の展開を図るとともに、原価低減や経費削減に努めてまいりました。

その結果、連結売上高は、工作機械関連事業部門、輸送機器関連事業部門ともに増加し、13,998百万円(前年同期比31.2%増)となりました。また、損益につきましても、売上増加に加えコスト削減施策の効果等により、営業利益は966百万円(前年同期比98.3%増)、経常利益は673百万円(前年同期比294.0%増)となりました。四半期純利益は612百万円(前年同期比670.3%増)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、円高に加え、世界経済の景気の減速感が懸念され、先行き不透明な状態ではありますが、依然として高い設備投資需要が見込まれ、堅調に推移するものと考えております。

CONTENTS

目次

株主のみなさまへ	1
事業の概況	3
中間連結財務諸表	5
トピックス	7
株式の状況	9
会社の概況	10

当社グループといたしましては、安定した経営基盤の確立を目指して全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第145期の中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく、その実施を見送らせていただくことといたしました。

平成 24 年 12 月



代表取締役社長

土屋隆史



本社及び高塚工場



浜北工場



REVIEW OF OPERATIONS 事業の概況



平成24年4月1日から9月30日に至る当社グループ第145期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業部門

当中間連結期間における工作機械業界(日工会)の受注総額は6,302億円となり前年同期に比べ5.4%減少いたしました。内需は1,946億円(前年同期比10%減)、外需は4,356億円(前年同期比3.3%減)と、ともに前年同期と比べると減少はしておりますが、依然年間1兆円の受注総額を超える高水準となっております。

このような情勢の中、工作機械事業につきましては、日系企業の海外工場への対応を含め、またアジア新興国を中心とした積極的な営業活動に努めるとともに、中国及びタイ工場で生産している設備機の拡販を図ってまいりました。また、グローバル調達や生産革新による原価低減推進活動を継続的に進めております。

光関連事業につきましては、省エネ効果が評価された高出力半導体レーザーによる溶接及び焼入れ加工を中心に販売拡大を行うとともに、今期は新たにレーザーでの部品溶接、焼入の受託加工営業も進めてまいりました。

以上の結果、工作機械関連事業部門の売上高は8,292百万円(前年同期比57.8%増)、営業利益は763百万円(前年同期比120.3%増)となりました。



▲シリンダーブロック加工ライン

工作機械事業におきましては、今後も日系企業を含めた海外展開を中心として、お客様のニーズに合った商品開発や海外のシステム対応力強化等を進め、事業部としての革新に努めてまいります。

光関連事業におきましては、引き続き環境をキーワードとした営業活動を推進するとともに、高出力半導体レーザー加工機を中心に、レーザーでの部品溶接、焼入れの受託加工も含めた販売拡大を進めてまいります。

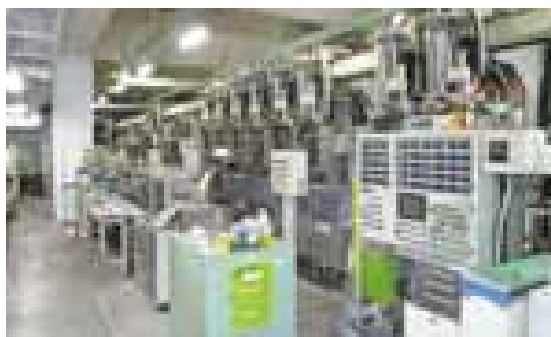


▲高出力半導体レーザーによる精密低ひずみ焼入

輸送機器関連事業部門

当中間連結期間におきましては、主力製品であります大型二輪車用、バギー車用エンジン部品及び自動車関連部品の生産において、売上高は前年同期に比べ僅かな増加に留まりましたが、営業利益につきましては大型二輪車用エンジンのめっき処理ラインの取り込み、原価低減や経費削減等により、前年を大きく上回ることができました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の売上高は5,666百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は173百万円(前年同期比44.9%増)となりました。



▲ボディシリンダーめっき処理ライン

今後につきましては、引き続き自動車関連の新規製品の取入れを推進すると共に、生産性向上を柱とするプロジェクトを中心に、ものづくり改革を推進し徹底した原価低減に努め 収益体質強化を図ってまいります。

また、海外におきましては、来年1月にはベトナムに輸送機器関連部門の製造子会社の工場建屋が完成する予定であり、事業の拡大を図ってまいります。



INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（平成24年9月30日現在）

（単位 百万円）

項 目	金 額
●資産の部●	
流 動 資 産	18,631
現 金 及 び 預 金	2,240
受取手形及び売掛金	4,885
商 品 及 び 製 品	3,531
仕 掛 品	5,291
原材料及び貯蔵品	870
そ の 他	1,821
貸 倒 引 当 金	△8
固 定 資 産	13,069
有 形 固 定 資 産	12,342
土 地	7,387
そ の 他	4,954
無 形 固 定 資 産	49
投資その他の資産	678
そ の 他	763
貸 倒 引 当 金	△84
資 産 合 計	31,701

項 目	金 額
●負債の部●	
流 動 負 債	17,679
支払手形及び買掛金	6,532
短 期 借 入 金	9,286
未 払 法 人 税 等	67
賞 与 引 当 金	320
そ の 他	1,473
固 定 負 債	8,469
長 期 借 入 金	3,938
退 職 給 付 引 当 金	2,144
役員退職慰労引当金	55
資 産 除 去 債 務	292
そ の 他	2,037
負 債 合 計	26,148
●純資産の部●	
株 主 資 本	2,284
資 本 金	4,640
資 本 剰 余 金	1,230
利 益 剰 余 金	△3,528
自 己 株 式	△58
その他の包括利益累計額	3,212
少 数 株 主 持 分	56
純 資 産 合 計	5,553
負 債 純 資 産 合 計	31,701

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨） 自 平成24年4月 1日
至 平成24年9月30日
(単位 百万円)

項 目	金 額
売 上 高	13,998
売 上 原 価	11,812
売 上 総 利 益	2,185
販売費及び一般管理費	1,219
営 業 利 益	966
営 業 外 収 益	72
営 業 外 費 用	364
経 常 利 益	673
特 別 利 益	0
特 別 損 失	5
税金等調整前中間純利益	668
法人税、住民税及び事業税	57
法 人 税 等 調 整 額	△6
中 間 純 利 益	612

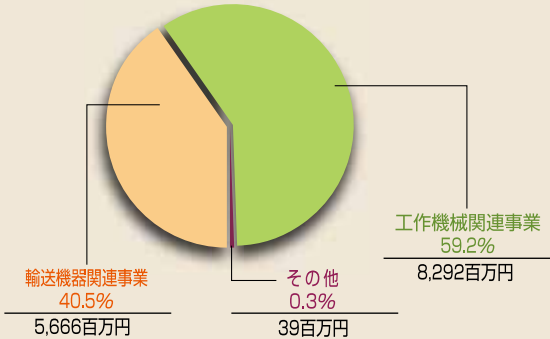
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨） 自 平成24年4月 1日
至 平成24年9月30日
(単位 百万円)

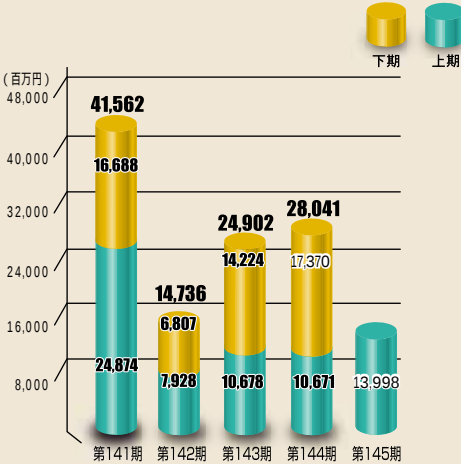
項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△794
財務活動によるキャッシュ・フロー	408
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	291
現金及び現金同等物の期首残高	1,860
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	87
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,240

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売 上 高
13,998百万円
(うち海外 6,558百万円)



売上高の推移





TOPICS

トピックス

IMTS2012 第29回シカゴショーに出展

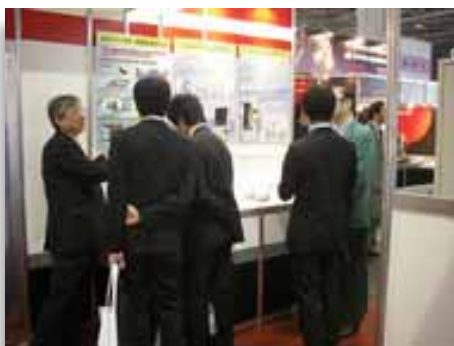
2012年9月10日～15日の6日間、アメリカのシカゴにて「IMTS2012」が開催されました。IMTSは、アメリカ最大級の工作機械展であり、今回で29回目となる歴史ある展示会です。世界119ヶ国から1,909社が出展し、100,200人の過去最高レベルの入場者がありました。

当社からは、GE590H、GE580H、GE480H、GE460H、EV360T、EV450Tの6機種出展し、エンシュウの最新鋭横型MCであるGEシリーズと、タイ製立型MC2機種のUSA市場での初披露となりました。GEシリーズの統一洗練された外観デザインやEV360T+簡易ロボットシステムはディーラーや来場したお客様に好評で多くの引合いを頂くことができました。





2012 国際ウエルディングショーに出展



世界の三大ウエルディングショーのひとつとして、溶接・接合技術ならびに関連分野における最新の製品と先端溶接加工システム技術を一堂に結集した日本唯一の溶接専門展「2012国際ウエルディングショー」(インテックス大阪 4/11~14)に出展しました。

当社からはコンパクト高出力半導体レーザーを搭載した小型溶接システム『LBM』の展示、及び0.1mmから0.2mmの薄板高速連続溶接のデモンストレーションを行いました。また、半導体レーザーの特徴を活かした焼入れ、異材溶接、樹脂と金属の接合の紹介も行い、次世代工法の提案に多くの来場者に反響をいただきました。

STOCK REPORT

株式の状況

1. 株式の総数・資本金

発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,534,546株 (自己株式 382,881株を含む)
資本金	4,640,850,000円

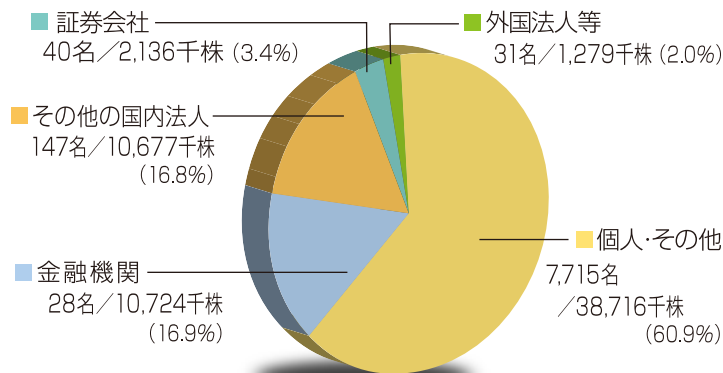
2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.22%)
エンシュウ取引先持株会	5,748千株 (9.10%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.16%)
株式会社みずほコーポレート銀行	1,572千株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.23%)
株式会社損害保険ジャパン	1,363千株 (2.15%)
エンシュウ従業員持株会	778千株 (1.23%)
日本証券金融株式会社	694千株 (1.09%)
明治安田生命保険相互会社	595千株 (0.94%)

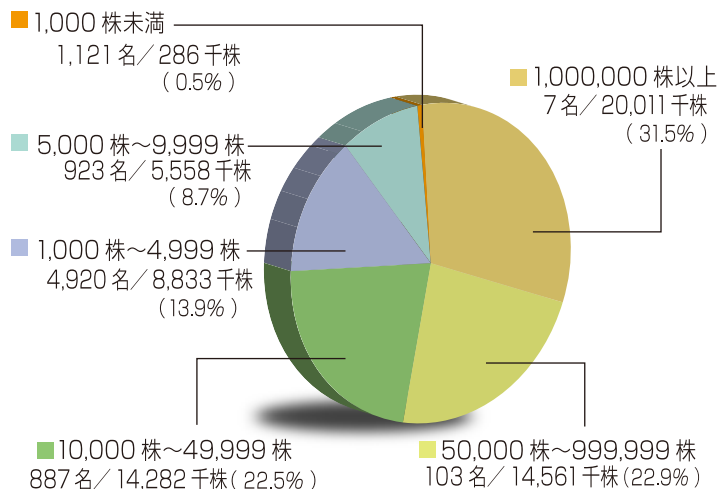
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 7,961名 / 63,534千株



所有株数別分布状況 合計: 7,961名 / 63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況

商	号	エンシュウ株式会社 (英文 ENSHU Limited)
設	立	大正9年2月5日
資	本	金 46億4,085万円
発行済株式総数		63,534,546株
株	主	数 7,961名
従	業	員 数 872名 (連結)
生	産	品 目 工作機械、輸送機器関連部品 半導体レーザー加工機



事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15 (スターハイツ)
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ シカゴ)
ENSHU GmbH	(ドイツ フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ バンコク)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ バンコク)
PT. ENSHU INDONESIA	(インドネシア ジャカルタ)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国 青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国 青島)
ENSHU Limited Wuxi Representative Office	(中国 無錫)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム ハノイ)

役員

(平成24年9月30日現在)

代表取締役会長	中	安	茂	夫
代表取締役社長	土	屋	隆	史
常務取締役	金	原	一	也
取締役	中	村	泰	之
取締役	山	下	晴	央
取締役	富	田	敏	弘
取締役	鈴	木	敦	士
取締役	小	木	国	典
常勤監査役	中	村	和	夫
監査役	澤	木	達	治
監査役	石	塚		尚
監査役	嶋	津	忠	彦

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 剰余金の配当の基準日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日
- 事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 公告方法 電子公告 (<http://www.enshu.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数 1,000株
- 株式の上場 東京証券取引所市場第一部
- なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。

2012年12月末まで

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続き取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引先の証券会社等になります。	みずほインバスターズ証券 本店、全国各支店 プラネットフース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほインバスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の 郵便物送付先・電話お問い 合わせ先・各種手続取扱 店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、株 式の振替手続を行っていただく必 要があります。 みずほインバスターズ証券で単元未 満株式の買増請求手続をされる 場合は、事前にみずほ信託銀行が指 定する口座に送金していただく必要 があります。

※みずほインバスターズ証券は、2013年1月4日以降はみずほ証券となります。

単元未満株式(1～999株)を 保有されている株主のみなさまへ

**単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。**

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】
証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引先の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引先の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <http://www.enshu.co.jp>